

# くろすろ〜ど 会報誌

2016／**1** がつごう 月号 サロン せつりつ しゅうねんきねんごう 設立20周年記念号



しゅうねん  
**おかげさまで 20周年**

せつりつ しゅうねん むか  
サロンは設立20周年を迎えました。



## 「あけましておめでとうございます」

こくさいこうりゅう かいちょう のがわとよこ  
国際交流サロン会長 野川豊子

国際交流サロンが、外国人の皆さんに役に立つ日本語と市民として生活ができるようになってほしいという気持ちで作られ20年経ちました。ボランティアと市役所の方達が協力し合っ

た楽しいサロンにしたいと思っています。言葉の違いや生活の違いにとまどうことがあるとおもいます。その時にはサロンに来てボランティアの方に聞いて下さい。私達は日本の生活を知ってもらいたいと様々なイベントもやってきました。そして今年も楽しい国際交流サロンになるようにしたいと思っています。

しかし思っても、見ていても交流はできません。参加してください、そしてあなたの国を紹介してください。

先日4人の学習者さんが小学校に交流に行きました。その時に目を輝かせて質問をする子供たちに大変喜んでいました。子供たちの知らない世界を目の前で話してくれたのです。興味津々に質問していました。そして最後にそれぞれの国の言葉で「さようなら、ありがとう」と伝えてくれました。

私達も同じです。日本語を教えている学習者さんが話せるようになったり、理解してくれた時には心の中で「よかった」と思います。帰るときにはお互いに大変いい笑顔です。わからないことは何でも聞いて下さい。みなさんが「協力したい」と思っています。お互いの気持ちが一緒になったら楽しい国際交流サロンになるとおもいます。

今年もどうぞよろしくお願ひ致します。



## 「20周年に寄せて」

ふちゅうしちょう たかの のりお  
府中市長 高野 律雄

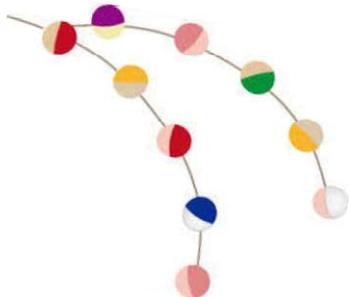
このたび、府中国際交流サロンが開設20周年を迎えられましたことを、心よりお喜び申しあげます。

府中国際交流サロンは平成7年の開設以来、日本語学習会やイベントを通じた交流活動をはじめ、外国人市民が府中市で生活しやすくなるための様々な支援に取り組まれております。活動にあたりましては、ボランティアの皆さまの多大なるお力添えをいただいております。活動に当たりましては、ボランティアの皆さまの多大なるお力添えをいただいております。学習者の方にも小学校への訪問や市民向けの講座等にご参加いただき、市民の国際理解の向上や異文化交流に貢献いただいておりますことに、心より感謝申しあげます。

また、サロン・東京外国語大学・市の協働によるワークショップや、生活便利帳の作成など、外国人市民を支援するための新たな取組も展開されておりますことは誠に同慶にたえません。

本市におきましても、「人とコミュニティをはぐくむ文化のまち」をまちづくりの柱として、引き続き市民の皆様と在住の外国人の方が、お互いの文化や習慣を理解し合い、共存しあえる社会の形成に努めてまいります。どうか皆様におかれましては、変わらぬお力添えを賜りますようお願い申しあげます。

結びに、野川会長をはじめ、日頃よりサロンの運営に多大なるご尽力をいただいておりますボランティアの皆さまに改めまして厚くお礼を申しあげますとともに、府中国際交流サロンがますます発展されますことを祈念し、私のお祝いの言葉とさせていただきます。



◆日本語学習部会

おも でおお がくしゅうしゃ  
「思い出多い学習者たち」

きんようよる かねさしち か こ  
金曜夜・ボランティア 金刺智加子

サロンに参加して 20年間、とてもたくさんの学習者と出会いました。

韓国人女性のHさん：「日本では自分の家族に敬語はつけません。」という「私はそれは知っています。でも私の気持ちとしてはどうしても両親に敬語をつけたいんです。」という譲りませんでした。

フランス人のIさん：サロンは最初の数年間グリーンプラザの一部を借りていて、夏になると屋上はビアガーデンになりました。Iさんは昼間日本語学校に通ってました。

「あさって学校のレベル試験があります。」と必死で質問攻め。「来週もお願いします。」と言ったのに次は欠席。ところがエレベーターの前でバッタリであいました。友達とビアガーデンに行くところでした。

中国大連からの東芝研修生の3人組：住居は有名なラグビーチームと同じ寮。お風呂は選手達と一緒に、彼等がどんなに体格がよくて大きいのか、浴槽に入ると大波がたつと身振り手振りを交えて話してくれました。

韓国人のCさん：会社の飲み会が続いて胃の調子が悪い時、同僚に教えてもらった「正露丸」。私が「昔はロシア『露』を『征』服する、という意味の『征露丸』と書きました。」という、ビックリしつつすぐにスマホで調べ、「まだ一社だけ『征露丸』と書いて出荷しているそうです。」と教えてくれました。

ほとんどの方は帰国されましたが、ときどき府中のこと、サロンのこと、たまに私のことを思い出してくれたらこんなにうれしいことはありません。

思い出す、サロンに参加したいと思ったあのころ。外国旅行で親切に助けてもらったことや片言の言葉ながらもその国の人々と会話し楽しい思い出ができたこと。そんな楽しい異国での体験はそのまま府中国際交流サロンの日本語ボランティアにつながった。もう10何年になるだろうか、今更に感慨深い。

恥ずかしい話だが「日本語を正しく教える」という意味ではいまだに実力不足。学習者の方には申し訳なく思う。だがサロンで知り合った方々との多くの思い出は私の心に豊かな感性を与えてくれた。「今も元気であるだろうか、子供たちはずいぶん大きくなってもう忘れたかしら？ お国では大丈夫かしら？」と思い出す。少なくとも日本に滞在している間は充実した日々を送ってほしい。ご縁があり、結婚式にも参加できたおかげで、一期一会ではあるがさらにご家族や親せきの方々とも交流ができた。子供たちは目を輝かせて寄ってくる、話したいのである。残念ながら言葉がわからない、唯一できる折り紙で鶴をみんなに教える。一生懸命頑張る。けれどびっくり！一人の子はなんと上手に複雑な作品をあっという間に作って私にくれたのである。折り紙は日本の伝統文化と思いで込んでいたが…。そういえば府中刑務所祭りでの展示作品にも韓国の方の素晴らしい作品があった。嬉しいことに結婚した学習者にも子供が生まれサロンの託児室に預け、日本語の勉強に励んでいる。これからもサロンのみんなが健康で平和に暮らせるように心から願う。そして地球上の人々にも…。

じぶん みが ぼしよ  
「自分を磨く場所をめざして！」

けんしゅうぶかいちよう かよう ゆみこ  
研修部会長 萱生由美子

にほんご おし まな よねん  
「日本語を教え、学んで20余年」

きんよう よる わだ やすひろ  
金曜・夜 ボランティア 和田泰弘

サロン設立の7年前、自宅マンションの集会所で、近隣に住む4人の外国人主婦の方々と日本語を学習していました。その後、私が所属する団体を含む市内の6つの国際交流団体が「府中国際交流サロン」としてまとまることになり、それからは日本語学習の場がサロンへと移りました。

20年間、板書代わりに使っていたノートを繰ってみると、一緒に学習した方々の出身国は、中国、韓国、インド、スリランカ、ベトナム、ミャンマー、台湾、ブラジル、タイ、カンボジア、シンガポール、オランダ、ドイツ等々、運動会にはためく万国旗のごとくです。

中国の鄭くんはプラモデル好きで、最初の挨拶は「てぐしてますか?」。何のことかわからず漢字で書いてもらったら、「てぐ」は「田宮」のことで、「田宮模型を知ってますか」と言いたかったのです。彼は「あかりをつけます」「あかりがつかます」をきちんと習得しました。

ベトナムのヌンくんは「バナナ」の発音がどうしても「バララ」になってしまい、舌先の位置をいろいろと動かすことを教えてあげたら「バナナ」に近くなりました。

発音が正確でとてもきれいだったミャンマーのプーさんは、語頭にくる「が」(学校)と、語中にくる「が」(音楽)の違いをすぐに聞き分ける鋭い感覚を持っていました。

生徒一人ひとりのエピソードとおもひ出はつきません。20年の長きに渡り、彼らからひと味違った日本語を学べたことを感謝しつつ、また新たな出会いを楽しみにしています。

2015年4月から日本語ボランティア研修部会に改名した旧ボランティア勉強会は、2009年10月に数人の有志で発足しました。月1回の定例会を重ねて、2015年12月で67回になりました。

勉強会は後に部会になりましたが、日本語ボランティアとしての自分を磨く場所、知識や経験を共有できる場所、という立ち上げ当時の目的は今も変わっていません。

実は、この会を立ち上げるきっかけになった出来事が十数年前にありました。

当時の運営委員会にオブザーバーとして出席した際、行事の打合せばかりで日本語関連の話が全く無いので、どうしてなのかと私が質問すると、ある方が“日本人が日本語を教えられなくてどうする!!”と怒鳴ったのです。その時はビックリしましたが、そこでサロンの現状を知りました。当時は「教授法研修」も必修ではなく、国語教育と日本語教育の違いを知っているボランティアはごく少数でした。後になって、先輩方のサロン立ち上げの頃のご苦労などが私にも徐々に分かってきましたが……。それを機に、だれでも自分の意志で参加できる勉強会のようなものが必要だと思えるようになったのです。某氏の一言が私にエネルギーをくれたのですね。

当初は参加者が9名という時もありました。最近は20名前後の人達が参加しています。

これからも『楽しく仲間と学べる場』を目指していきます。新人さんもベテランさんも研修会を大いに活用して下さい。



## 「企画にこめた“思い”と“苦勞”」

前企画部会長 安島文江

企画部会は、これまで何年も続けてきた企画、そして新しい企画も加えながら、毎年行事を検討してきました。その一つ一つに企画部員の“思い”と“苦勞”があったように思います。いくつか紹介します。

○バス研修会：丸一日バスを利用しての体験ツアー。

「潮干狩り」、「JAL機体工場見学」、「せんべい焼き体験」といったふだん体験できないものを企画してきました。「珍しい体験をした」との反響が多く、それだけに次の企画へのプレッシャー、期待の大きさを感じ悩んだこともしばしば…

○サロンの集い：参加者は200名を超え、色々な国のおいしい料理、楽しいアトラクションありの熱気あふれる一大イベント。「皆が笑顔で楽しく」をモットーに頑張ってきましたが、なにしろ大人数のため行き届かないことも多く、苦勞することも…

○バーベキューの集い：青空の下、火おこしから始まり、材料を焼いたり並べたりの全員参加の恒例イベント。大いに飲み食べ、皆さんの笑顔がはじけます。悩みはただ一つ、天気…

○国際理解講座：3年前に開始。学習者が自身のふるさとを語り、参加者との質疑応答、そして用意してもらった郷土のお茶とお菓子を食べながら、和気あいあいの雰囲気の中で親睦をはかります。人選やテーマ選びなど多少苦勞しますが、今後も続けていきたいイベントです。

“楽しかった”、“また参加したい”という多くの声を聞くと、多少の苦勞など吹き飛んでしまいます。今後多くの方々が喜んでもらえる充実した企画をめざし、企画部員全員で頑張っていこうと思います。



## ◆文化交流部会

### 「文化交流部の成り立ち」

文化交流部会長 進藤美津江

昨年の「サロンの集い」は、いかがでしたでしょうか？気づかれた方も多々と思います。

生後6ヶ月の赤ちゃんからヨチヨチ歩きの可愛い乳幼児が十数人もいました。

二十年前にサロンが始動して数年後に府中で生活する為に必要な習慣、ルール、日常会話の必要性から、「サロンでお茶会」が作られました。が、そのうちに色々な国の学習者が増えてきて相互の理解のためにも日本文化を含めた各国の文化、習慣を話したり体験したりする会が必要との声が学習者からも増えていきました。

そして定着まで何年もかかって、一度きりで消えてしまった催しも多々ある中、各国の料理（次第にサロンの集いのパーティ料理となりました）、生け花、陶芸、ちりめん細工、編み物、着付け、そして民族舞踊などの教室が定着し、年間参加者は延べ数百人を数えるまでになりました。

ここで、日本文化を体験し日本が大好きになって帰国した方も多々います。府中が大好きになり子育てを始めたママ達も様々な悩みや困難を乗り越え頑張っています。国の違う友達もでき、とうとう家を購入した人も何人かいます。

昨年の「サロンの集い」で同窓会のように集った幸せそうな人達を見て来し方を思うと胸がいっぱいになりました。ありがとう！あなた方から、沢山の

感動を貰いました。これからもサロンで一緒に学び合ひましょう  
文化交流部は、本誌一面のスローガンを目標にこれからも活動してまいります。  
皆様のご参加お待ちしております。

◆ かいほうぶかい  
会報部会

「ちょっと笑える話」

～くろすろ一ど秘話～

ぜんへんしゅうちょう しのかそういちろう  
前編集長 篠塚宗一郎

サロン会報誌「くろすろ一ど」が創刊されたのは1997年11月、サロンが発足して2年後のことらしい。「くろすろ一ど」(人と人、文化と文化が会う十字路)というネーミングはとてもお洒落でサロンにぴったり。今回の「20周年記念号」は通算201号目になる。

私が編集長を務めたのは2005年4月号から2015年3月号までの10年間。サロン20年の歴史のちょうど半分にあたる。よくまあクビにならなかったものだ。その間、たくさんのボランティアさん、学習者さんに助けて頂き、なんとか発行し続けることができた。本当に感謝しています。

始めはボランティア専用誌の感じだったが、最近 は学習者の日本語能力向上とともに、学習教材としても使っていただけるようになり、望外の幸せに感じている。

ここで、笑える内輪話を一つご披露したい。  
私の前任の編集長は数納基雄氏というめっちゃ文章が上手くユーモア感覚に富んだ面白いおじさん。「数納」という苗字は珍しいが幸い私は大学の同級生に同じ苗字の人がおり、初対面でも読むことが出来た。数納編集長に「よく読めました。」と誉められ、彼の下で2年間原稿集めなどの下働きを務めた。ところが、2年経った2005年3月初めに突然彼から「急に京都に引っ越すことになったから、4月号から編集長をやってね。」と命令されたのだ。「えーっ、そりゃないでしょう！」でも彼は引継ぎらしいこともやらず、さっさと京都に引っ越してしまったのだ。

後に残された私は七転八倒…まあ大変だったが、笑える話はそのことではない。実はこの数納前編集長こそが私が大学時代に机を並べて勉強した(筈の)クラスメート数納君だったことがなんと彼の京都引っ越しの2か月後に発覚したのだ。つまり私と数納氏とはサロンで2年間一緒に仕事をしながら、お互いに40年前は同級生だったことに全く気付かなかったのだ。ウソのような本当の話…そう言えば数納氏も私も殆ど授業には出ず、私は雀荘、彼は飲み屋で遊んでいたからなあ。

その数納元編集長は罪滅ぼしのためか名エッセーシリーズ「京都だより」を100回にわたり寄稿してくれたが、昨年春、ガンのため愛する京都のホスピスで永眠された。ご冥福を心からお祈りします。合掌！

# 「世界は狭くなった！」

もとふくかいちよう おおもり えりな  
元副会長 大森 英里奈

ふちゆうこくさいこうりゆう た あげから ボランティ  
アをしてきた大森英里奈です。国際交流サロンが20  
しゅうねん むか えてたことをとてもうれしくおもいます。今まで  
かか かわって来た方、現在のボランティアの方ひとりひ  
とりの活動があつてこそ、今日を迎えることができました。

にほんご教室や様々なイベントを通して、多様な  
ぶんか かいまみ ことができました。中国人の男性は  
お料理がとても得意な方が多く、一方中国人女性は  
こども う 産んでからも志が高く自分のキャリアを  
ついぎゅう 追及することに余念がなく感心しました。また、ブ  
ラジルから来た方が大勢いたときはとても明るくに  
ぎやかでフレンドリーな空気が流れてました。陽気  
でフレンドリーな分、レストランではおしゃべりに  
はな がさき注文を最初にするまでに30分ちかく経過  
してることもありました。

インターネットの登場や様々な利便性の向上に  
より、様々な国の人が往き来するようになり世界は  
せま 狭くなったように感じます。府中の街中で外国人の  
かた とすれ違うことも、もう珍しくありません。しか  
し彼らの各々の文化や価値観に触れる機会はまだまだ  
すく 少ないです。ずっと暮らしてきた私達にとっては  
あ 当たり前でも、知らなかったり、理解が難しいこと  
があります。こちらの生活習慣などをただ教えるだ  
けではなく、学習者の方のバックグラウンドを理解す  
ることも大切です。また、それは私達ボランティア  
の視野を広げます。ボランティアは男女、若い方か  
らリタイアしている方までとても幅広く、様々な方  
がかわれるところもとても魅力的に思えます。その  
ように接していくことで、彼らの慣れない日本での  
せいかつ 不安や孤独感を減らす大きな手助けとなるで  
しょう。学習者の方もボランティアの方も、日々  
なか えがお 送れる日を1日でも増やしていけたらと  
かん 感じております。

## ◆ 児童学習支援

### 「外国につながる子どもたちを支援して」

とうきょうがいこくごだいがく  
東京外国語大学ボランティア・コーディネーター  
にしほらあきこ  
西原明子

ふちゆうこくさいこうりゆう 20しゅうねん おめでとうございます。そ  
して、2005年2月に府中国際交流サロンで始まった児童  
がくしゅうしえん らいしゅん には12年目を迎えることとなります。こ  
れもひとえに、府中市やサロンのボランティアのみなさま  
のおかげとおも っております。ありがとうございます。

児童学習支援は、府中市と東京外国語大学の協働・  
れんけいじぎょう 連携事業として開設されており、府中市主催の教室に、  
ほんがく がくせい はけん 本学から学生を派遣させていただいています。支援  
たいしょう 対象となっている子どもは「外国につながる子ども」一  
いみん こくさいけつこん たよう 移民や国際結婚などの多様な言語文化環境で育つ子  
どもたちです。家に帰っても宿題を聞くことの難しい子  
どもが、学校の宿題を かんが えて解くお手伝いをしたり、  
たいけんがたがくしゅう しゅほう もち にほんご いっしょ まな 体験型学習の手法を用いて、日本語を一緒に学んだり  
しています。

児童学習支援の教室運営は、府中市の監督のもと  
がくせい ゆだ 学生に委ねられていますが、今年度は新しい取り組みと  
して、サロンのボランティアさんと協働で、避難訓練を  
じつし 実施しました。

今後とも本学の学生の活動へのご理解ご協力のほど、  
よろしくお願ひいたします。

えてがみ  
絵手紙



おおはし  
大橋ボンチャン (ラオス)



なむそら かんこく  
南素羅 (韓国)

「毎回感動させられる学習発表会」

月曜午後・部会長 西原珠四

今年も日本語学習発表会が3月12日(土)に開催されます。私の手元に「2007年第15回府中市(在住、在学、在勤)外国人による日本語スピーチコンテスト」のプログラムがあります。第1回は1993年ということになります。2007年度のプログラムを見ますと、主催は東京武蔵府中ロータリークラブ、国際ソプロチミスト東京府中、府中国際交流サロンとあります。会場も府中グリーンプラザ・けやきホールで盛大に開催されていました。私もこの会を見学致しましたが盛大な「日本語スピーチコンテスト」で驚きました。

その後日本経済のバブル崩壊もあり、現在のよう、府中国際交流サロンで学ぶ外国人学習者の日頃の日本語学習の成果を発表する場としての「日本語学習発表会」に姿を替えて、東京武蔵府中ロータリークラブ、府中国際交流サロンと共催で開催することになり、27年度は第7回です。初級者、中級者が「今の自分の日本語力を総動員」して約100名前後の人の前で話すことによって勇気を得て日本語学習に積極的になったという感想が多く聞かれ、今後の日本語学習意欲を喚起する場として定着して来ています。スピーチも面白い異文化交流的なものが多く、毎回、その姿には感動させられます。

今年も多くの学習者の素晴らしいスピーチを期待しています。

◆各国の名物料理の舞台裏

「少しだけ、料理班裏話」

金曜午後・ボランティア 荒木順子

12月12日(土)「サロンの集い」のお料理は如何でしたか? 昨年は各国のおばあちゃんからお母さんへ。お母さんから私へ・・・と引き継がれてきた、レストランでは味わえない家庭の“味”をテーマに準備が始まりました。まずはメニューを決めなくてはなりません。全ての基本になりますのでこれが一番時間が掛かったかもしれません。

国ごとに、食材別に、同じような内容になってしまっていないか? など、偏りが無いように気を付けながら決めて行きます。初めて作るものは味はもちろん、量や手順の確認をしながら試作、試食をしてみます。今回は3種類のカレーの味比べを計画しました。ベトナムカレーの試作は〇〇君が先生に男性2人が助手に入りました。残念ですが集いの当日、〇〇君が仕事の都合で参加できない・・・とのことで野菜の切り方から調味料の分量など、代わりに作る助手さんは真剣に習っていました。日本のカレーは多くはジャガイモを使いますが、ベトナムカレーはサツマイモを入れる! カレーって辛いものでしょ! 甘くならないの?・・・試食会の手伝いの方々もどんな味になるのか興味津々でした。

メニューが決まり食材、調味料の計算が出来上がると交渉上手な〇〇さんの出番です。リストと赤鉛筆片手にスーパーを2か所、3か所とまわります。美味しく、新鮮で、そして安く、こだわりのある食材探し大変です。あちらの店、こちらのスーパーと捜し歩きました。当日は車のトランクに入りきれず座席にも段ボール箱を積み重ねて運ばなくてはならないほどです。

食材が揃ったら2日間かけて煮込むミートソースや湯葉巻の下ごしらえなど前日からの下準備が始まります。6月初めの打合せから始まりいよいよ本番のテーブルに並べられるまで。朝から何十枚も

チヂミを焼いていた人、黙々と生春巻きを巻いていた人、大量の天ぷらを揚げていたグループ、せっせと鍋を洗っていた人、等等。

各国の料理を作った人はもちろん、当日の手伝いの方々に心からありがとう！！そして“美味しかった！！”の聲が料理に携わったみんなへの最高のご褒美になったことと思います。

## 「愛情をこめたお料理作り」

キム ウンジョン カンコク  
金 殷正 (韓国)

サロンの集いに参加された皆様、当夜賞味された各国のお料理の味はいかがでしたか!?美味しく召し上がり幸せになれましたか!?

サロンの集いの中でなくてはならない楽しみの一つは、各国のお料理を味わうことじゃないかなと私は思っておりますが…。

集いの前日から、サロンの先生方達、学習者達、市役所の担当者達が揃った材料が足りなくないか確認しながら、料理別の材料を細かく分けて準備することから料理班のお料理作りが始まります。

集いの朝、お料理の準備をしながら、あまりにも多い量(約250人分の量)に驚きながら賑やかに楽しみつつ、めいめいが一生懸命お料理を作り始めました。

時間かかりそうだけど間に合うかな!?思った通りに綺麗な形で美味しく出来上がるかな!?といろいろ心配しながら、愛情もいっぱい込めてお料理が出来上がった時の皆さんの顔に思わず嬉しい笑顔が浮かびました。

最後までドキドキしながら、私達が愛情込めて楽しく作ったお料理を、集いに参加された方達が美味しく残さず召し上がって幸せな気持ちになれるといいなと願いました。疲れて大変だったけど本当に楽しい経験になりました。

皆さんも来年はサロンの集いで自分だけの得意なお料理と一緒に作り、幸せな気分を味わってみませんか?



りょうりはん  
料理班

# ねん こうりゅう サロン 20年～交流ことはじめ

府中市在住の外国人への日本語支援、文化交流、生活情報支援という理念のもとに、府中国際交流サロンは設立以来、数々の企画・イベントを実施してきました。それらの「ことはじめ」の足跡をたどってみました。

## 1995年 4月 サロン創立

発足当時の日本語学習はグリーンプラザにて毎週金曜日1回のみ。6月には金曜午後クラスも増設。



設立を伝える新聞記事（東京新聞 平成7年6月8日より抜粋）

## 4月 文化交流活動も同時に開始

(当時の絵手紙)



生け花・絵手紙作り・浴衣の着付け教室・民族舞踊・料理教室など、幅広い文化活動をおこなって、外国人の方々との交流をはかる。



## 4月 サロン創立と同時に会報誌「けやき並木」が発行される

現在の「くろすろ〜ど」の原点



1996年

2月 バス研修ツアー開始

毎年一回、日本の文化と歴史を体験するためのバス研修ツアーが行われるが、第一回目は、江戸東京博物館を訪問。



2014年 草加せんべい作り

3月 「サロンの集い」始まる

3月28日にグリーンプラザで一回目の「サロンの集い」が開かれる。その後、商工会議所、サロンのある北第2庁舎を経て、現在のルミエールに落ち着く。

毎年、評判の世界料理をはじめ、生け花、絵手紙、民族舞踊など、サロンの日頃の活動が披露される。



2015年

7月 バーベキューの集い始まる

毎年、多摩川河川敷でバーベキューの集いが開かれる。昨年は過去最高の74名が参加。

1997年

6月 学習会が週5回に増設



日本語学習会が、月曜日（午前・午後）、水曜日（午後）、金曜日（午後・夜）の全部で5部会に広がる。

府中国際交流サロン瓦版

1997/11 創刊号

# くろする〜ど

人と人、文化と文化が会う十字路口

## はじめに

各部会で選んでいる沢山の情報…ただ聞き流すのって勿体ないですよ。

ね、もし、そうした情報をいつでも手元に置くことができたら、もっと皆楽しくならないませんか？ いろんな企画、新しいメンバー、そしてサロンのもっと他の活動、そうした動きをできるだけ皆の物にしたくて、「くろする〜ど」という瓦版を作ることになりました。今回はその創刊号です。もしこれを見て「面白い!」と思ってくれた方、是非私達と一緒にやりませんか？

## 各部会の活動情報

### ◆部連絡会

各部会間の連絡・情報交換の場として、部連絡会ミーティングが月に一回開かれるようになりました。10月24日(金)に第三回目のミーティングが開かれ、日本語部会・会報部会・文化交流部会・企画部会から10人の参加者があり、企画部会及び文化交流部会企画のイベントについて、そして今後のサロンのあり方について話し合われました。次

現在の編集メンバーには、和田編集長をはじめ、10年以上もボランティアに携わってきた篠塚元編集長と坂倉元副編集長ら、5名が携わっている。

「けやき並木」を引き継ぎ、「くろする〜ど」が創刊。サロンの活動や世界の文化、ボランティアと学習者の方々の投稿などを紹介。紙面での交流の場となっている。夏休み8月を除き、毎月発行。昨年12月で200号を迎える。



イラスト：小沢智子

## 第一回日本語学習発表会

外国人学習者による「日本語学習発表会」が、東京武蔵府中ロータリークラブの協力を得て、グリーンプラザにて開始。



## 学校訪問・課外授業開始

外国人学習者が市内の小学校を訪れ、課外授業を行う。第一回目は、南町小学校を訪問。



2000年 四谷小学校へ

## 2001年

## 日本語教授法研修会始まる



ボランティアが日本語教授法を学ぶ研修会が始まる。これまでに、川上京子先生をはじめ、藤森弘子先生、横井雅子先生が講師を担当。昨年からは柏崎雅世先生が着任。

2002年

東京外国語大学との連携

東京外大の留学生をサロンの日本語学習会に招待。2005年には、学生の協力を得て、外国人児童への日本語学習支援が始まる。



2009年

日本語ボランティア研修会開始

毎月一回テーマを決め、ボランティアの勉強会をスタート。2015年12月で67回目を数える。



2014年 中村則子先生による音声学指導 (上)

2013年

国際理解講座～ふるさとを語る

府中市民を交え、学習者が自分の国の生活・文化・歴史を紹介する国際理解講座が始まる。



井戸端会議(おしゃべり会)

学習者とその家族の生活支援を目指し、情報を交換する「おしゃべり会」が発足。

2015年

4月 サロン創立20周年を迎える

すば じかん  
「素晴らしい時間をありがとう！」

インドネシア リドザ・メガリナ・ワヒド

ゲルゲイ・グヤシュ (ハンガリー)

ハンガリーのゲルゲイ・グヤシュです。かつて農工大の留学生で、現在はハンガリーでトウモロコシの品種改良の仕事をしています。私は日本語を学びたくてサロンに参加しましたが、そこではたくさんの素晴らしい友達もさることながら日本語の知識以上の事を学ぶことができました。ボランティアの先生方はその都度2時間ものレッスンをしてくれました。先生方との友情はこれからも永遠に続くことと思います。サロンで素晴らしい時間を過ごし、その思い出はハンガリーに帰った今でも忘れがたいものとなっています。



ありがとうございます！

My memories!

My name is Gergely Gulyás from Hungary, currently a corn breeder and a former student at „Nokodai” in Fuchu. I joined the Saloon for the reason to learn Japanese language.

However, I got more than a good knowledge of Japanese; I got many good friends as well. The volunteering teachers offered more than two hours of teaching but their friendship that can last forever. I had a wonderful time at Saloon and the memories I got there are really unforgettable. THANK YOU!

(注:ゲルゲイさんは、2006年から2009年まで金曜夜の日本語学習会で、渋谷文子先生と学習をしました。帰国後は、日本留学の知識を活かし農作物品種改良の会社の技術者として、母国ハンガリーで活躍しています。寄せられた英文は渋谷先生が翻訳され、原文も併せて掲載しました。)

2006年7月にはじめて来日しました。はじめはすべて夢のようなことであり、まさか日本に住むことになるなんて、ただでさえ肝心の日本語も全然分かりませんでした。その時はただ先に日本で働いている主人についていこうと、日本はどんな国か知ろうともしませんでした。日本語が出来なかった自分はとても悔しかったです。その日々は何か月間か続きました。日本での暮らしは楽しくなかったです。そんな自分の悔しさに気づいて、いつの間にか日本語を勉強する気になりました。最初のころは、稲城市に住んでいたため、市役所のほうで毎週日曜日にボランティアの方たちに日本語を教してもらいました。その後、家でも一所懸命日本語を勉強しました。少しずつ周りの言葉も理解できて、日本語が話せるようになりました。私の世界は変わりました。日本語の勉強も楽しくて、それ以上に日本での暮らしもとても気に入りました。日本が好きです。今もそうであるように！

そのうち、知人から聞いて「府中国際交流サロン」のことを知りました。いつの間にか時が勝手に流れて3年間もサロンで日本語の勉強をしながら、深い絆を育て上げました。その3年という時間の中で数え切れないほどの新しい発見に気づき、友情から始まり、心の親切さ、そして日本語を教えてくれる先生方の誠実な姿に心がうたれました。その心の温かさは決して忘れることはないでしょう。

しかし、時はいつでも味方を感じることもないでしょう。主人も大きな夢を持っていることが気づきました。母国のインドネシアのために何かをしたいという夢でした。どんな小さなことからでも良く、主人は日本で研究・開発してきた「小型風力発電機」の技術適用により、母国にいる無電化村や無開発の島々に小さな灯りを届けたいという強い意志を持っていることを知りました。2011年のころから主人はその夢のために日本・インドネシアに行ったり来たりしました。一度も想像したこともなく、まさか

2012年7月に大好きな日本の暮らしを離れて、主人と一緒に帰国しました。急に決まったことなので、実感はありませんでした。(2月号に続く)



中央がイチャさん

## 「仕事もうまくいってます！」

ニエン・ディエム(ベトナム)

日本に行ったのは秋で寒かったです。寒さはベトナムの南に余りありませんので、私たちは季節に慣れてないのでとても寒い感じでした！！それははじめて日本の印象です。

研修生として日本へ行ったので1ヶ月飯能市に勉強の為住んでいました。静かな所です！！1ヶ月後府中市へ移動してここで3年の仕事を始めました。

3年仕事をするのに日本語が分からないと出来ないとおもっていたから早く日本語で喋れるようにしたいから日本語の言葉の暗記しかない。ベトナム語の字と日本語の字の見方は全然違うから大変だと思いました。その時は先輩から誘われて日本語学校へ行きませんか？と言われていました。日本語の勉強方法を悩んでいたから外人の為の日本語学校があるからとても嬉しかった。日本語学校と言いましたがそこへ行ったら府中国際交流サロンの名前でした。ここは日本語を教えるだけじゃなくて外国人の為色々活動を行う。日本語を教えたり、生け花、踊り、ダンス、絵手紙、そして毎年BBQ活動、工場見学など行っているが私の核心は日本語なので日本語クラスとBBQ活動だけ参加しました、日本語クラスは一週間何度も行いうが夜クラスは金曜日だけなので私は金曜日のクラスを参加しました。ここで和田先生と一緒に日本語、日本の文化、習慣などを勉強してしま

た。日本語クラスと言う事は日本語を勉強したい方ですからベトナム人だけではなく他の国の外国人は沢山居ます。3年間お蔭様で3級、N3を受けて合格して帰国した後N2も合格したです。仕事の関係で日本語が少し分かるので仕事もうまくなりました。3年間日本語クラスで和田先生だけではなく橋本先生やサロンの皆様が色々教えて頂きました、絶対忘れません。

(注:ニエンさんは、研修生として2008年来日、3年間、金曜夜のクラスで学習しました。ベトナムに帰国後、日本企業に就職し日本語を使う仕事で活躍しています。サロンと一緒に学習した、同じベトナムのヌンさんと2013年秋に結婚、今年3月、男児が誕生しました。)



ニエンさんとヌンくん一家

## 学習者が語るホントのホンネ

「よかったこと、こまったこと」

(第67回研修会12/16・萱生由美子記)

サロンの学習者の意見を聞く機会が、普段はあまりありません。そこで、今回は学習者の体験を中心にボランティアと活発に話し合ってもらいました。参加者は22名で、そのうち学習者は6名です。以下は要約です。

〔学習者(敬称略)〕 岡林秀雄(アメリカ)、徐震(中国)、サイ・シンイ(台湾)、グエン・ファン・ティン(ベトナム)、朴明賢(韓国)、アントネツラ・セニセ(イタリア)  
〔司会:村田、野川〕

### ★サロンでよかったこと、うれしかったこと

- ・サロンは1対1なので良いと思う。
- ・勉強したいことを先生が準備してくれる。

- ・交流会やバスツアーなどの行事で友達が増えた。
- ・最初は淋しかったが、今は友達ができた。
- ・サロンで日本人と話したり、交流ができてうれしい。
- ・日本の文化や料理、府中のことも教えてもらった。
- ・勉強とイベントに沢山参加して思い出がいっぱい出来た。

### ★学習者は決まった先生と勉強したいか？

- ・同じ先生がいい。(多数)
- ・始めの頃、先生が決まらず不安だった。
- ・月1回(1時間くらい)小さなグループで話しが出来るといい。
- ・決まった先生は計画的にやってくれるし、一時的な先生も得意分野が違うのでいい。

### ★同じマッチングは2年くらいというルールについてはどう思うか？

- ・同じ人がいい(3人) 変わっていい(2人)
- ※マッチングをする人から→いろいろなタイプの日本人がいることを学習者も知った方がいいと思う。

### ★サロンでこまったこと、イヤなこと

- ・誰にでもすぐ英語を使う人がいてこまった。
- ・男性ボランティアが若い女性に“ボーイフレンドはいるのか？”とプライベートなことを聞いていたのは問題だ。(Ⓢセクハラと言われますよ！)
- ・ボランティアは親切すぎると押しつけになるのでほどほどに。
- ・学習者が家族のプライバシーを繰り返し聞かれてイヤだったと言っていた。

### ★まとめ

学習者同士が知り合うきっかけになる小さなグループレッスンや交流会を時々やってほしいという声が多くありました。各部会で是非試みてほしいと思います。学習者の皆さん、ご協力ありがとうございました。



グエンさん、蔡さん、陳さん、アントさん、岡林さん、林さん

## おも で けっさくき じとくしゅう 思い出の傑作記事特集

本誌に掲載された往年の作品の中から、心に残る作品を再掲載。あなたが覚えていたのはどれとどれですか？

### ◆「日本語の散歩道」より

## 『きみ』のことを『ぼく』という

さかくら いくお  
坂倉 郁夫

わたしがニキビざかりの大学生の頃の話です。実家近くで弟(当時、中学生)の顔見知りを見かけ、気軽にご相談しました。「ボクは何年生？」彼はムツとした様子でぶっきらぼうに答えました。「おめえの弟と同じ」この一件を弟に話すと、弟は舌うちしながら、「子供あつかいするから…」と軽率な兄貴に文句を言いました。

日本語では、この時の「ボク」のように、一人称を二人称として使うことがよくありますよね。「われは何考えてるんだ」とか「おのれはとんでもないやつだ」などと言う。「てめえ」もこの類の言葉とか。大野晋先生によれば「もともと『てまえ』(手前)で一人称だったのが、今では相手に向かって言う二人称になってしまった」よし、他に、「自分」も二人称として使われることがありますね。「自分はどうしたいと思っているの？」と訊いたりします。

ところで、夫婦で日本酒を飲みに行くのがいち

ばんの楽しみという友人がいます。誘われて三人で飲みに行った時、亭主がカミさんに飲みたい酒の銘柄をたずねました。

「わたしは何にする？」

この「わたし」、なんとも柔らかにひびきました。

「君」では硬すぎるし、「あなた」はよそよそしい、「おまえ」はいかにも威張っていますから。

こういう一人称の二人称への転用について、井上ひさしさんは「できれば対者と一体になりたい」、同化したいという心理が働いているためではないかと説明しています。相手に身を寄せた言い方も言えるかもしれませんね。

最近では「彼」「彼女」の三人称まで二人称代名詞的に使う人がいます。よくキャッチセールスの男性が、通りがかりの女性に声をかけて、

「カノジョー、ちょっと話聞いてくれない？」などと言っている。思わず男の尻を蹴とばしてやりたいような衝動にかられます。

ついでながら、これは女性に多いようですが、たとえば自分の赤ちゃんのことを、

「カレがそういうの嫌いなので…」などと言う人がいる。これもちょっとヘンじゃないですか。

「あたしって、そういうことが嫌いなヒトなの」などという、あれと似た違和感をおぼえてしまいます。わたしはどう思いますか？

(2007年4月号)

## ◆「京都だより」より

### 「お地蔵さん」

すのう もとお  
数納 基雄

「村のはずれの お地蔵さんは いつも にこにこ 見てござる」・・・お地蔵さんは童謡にも唄われ、なんか愛らしくて、親しみ深くて、ほのぼのとした雰囲気がある。東京なら巢鴨のとげぬき地蔵が有名だね。とんと不信心なぼくは神仏には縁なき衆生だが、京都を歩けばいやでもお地蔵さんに当る。いつ

もお花の絶えないお地蔵さんが、町の辻辻に立ってはる。

正式には地蔵菩薩という。中世に地獄・極楽の思想が広まった。極楽浄土に行けない者は地獄に落ちるしかない。そこで地獄の責め苦から人々を救ってくれる地蔵菩薩への信仰が盛んになった。お地蔵様は地獄にまで出張サービスして衆生を救うという、至れり尽くせりの仏様なのだ。「地獄で仏」はお地蔵様なんだね。「村のはずれのお地蔵さん」にはわけがある。村のはずれは“この世”と“あの世”の境界と思われていたから、そこに村びとはお地蔵様を立てたんだね。

京都市内には、なんと五千体以上のお地蔵さんがあるという。室町以来の小さい町の単位が残っているので、市内の町名はざっと五千。つまり各町内に一つはお地蔵さんがある計算だ。

大都市のただ中に無数の地蔵があつて、いまでも大切に護られている。不思議である。畦道のお地蔵さんは野ざらしだが、京都ではみな祠に安置されている。祠といっても半端じゃない。“わが町のお地蔵さん”の身の丈に合わせた注文住宅だ。なかには漆塗りとか総タイル貼りなんて豪邸もある。

もともとのお地蔵さんには“ちっちゃい坊さん”のキャラがあつて「子供の守り神」だ。祠には“町内安全・家内安全”の垂れ幕。お地蔵さんは町内団結のシンボルなのだ。夏休みの終盤、京都全域で「地蔵盆」を行う。子供のためのお祭りだ。お地蔵さんを祠から出して、一年間の汚れを落とし、顔にお化粧をし、よだれ掛けを新調する。お花やお供えものを上げ、町内の子供の名前を書いた提灯を飾る。京都のお地蔵さんは、あまねく老若男女に愛される“ご利益つきペット”なのである。

(2008年 10月号)

## ◆ボランティアの「投稿」より

### 「私の日本語再発見」

崎山美穂 (元ボランティア)

「鉄面皮」「大風呂敷をひげる」「貴様」、これらは私が中国駐在中に中国の友人が使った言葉です。私自身は知識として言葉の意味は知っていましたが、日本で実際の会話の中で聞いたことがなかったので、中国人大学生の口からこれらの言葉がでてきた時には驚きました。しかも「貴様」に関しては、「貴様のお名前は？」というように、近世中期以前の【目上の人に対する敬称】の用法で使われたので、最初は何を言っているのかわかりませんでした。(もちろん、これは現在では間違った使い方なので、後から間違いを訂正しておきました。)

中国の大学で日本語教師をしている友人が、「中国では古い教材を使って日本語を勉強している人が多いので、びっくりするような言葉を使う学生がいる」と話していました。まじめな学生ほど教科書に載っている単語や文章を暗記して、普段の会話でそれを使うと努力します。プロの教師であれば「その日本語は今ではあまり使わない」とか「現在ではこちらの単語のほうが一般的だ」などの確かなアドバイスができるのですが、あまりにも長く中国に駐在しすぎて日本語能力さえ怪しくなっていた私は、大学生たちとの会話でも「そんな日本語があるんだ」とただ無責任に感心しているばかりでした。

以前、中国の友人が亡くなった父親の話をしてくれた時のことです。友人の父親は溺れた人を助けようとして亡くなってしまったのですが、その話の最後に友人はこう言いました。「この事を思い出すと心が泣きます。」日本人ならこういった言い方はしないと思いますが、私にはその時「心が泣く」という日本語ほど今の場面に合う言葉はないのではないかと思えました。

他国の人と交流する時、相手が使った間違った日本語を訂正することは、彼らの日本語能力向上の

ためにとっても大切なことです。でも、私自身は彼らを使うちょっと変わった日本語に魅力を感じずにはられません。他国の人が使った日本語の中に、今までとは違った言葉の響きや使い方を発見するのは私の秘かな楽しみにもなっています。

(2010年7月号)

## ◆学習者の「投稿」より

### 「ツーマッチ…さようなら！」

ミャンマー エイマーチョウ

3年前日本へ来たとき、私は日本の物質的豊かさや便利な暮らしぶりに強い印象を受けました。私の国ミャンマーには、政治、経済、社会てきな問題がたくさんあって、人々はくるしい生活をしています。それに比べて日本の暮らしをうらやましく感じました。

日本はサービスについても世界的に有名な国だと聞いていましたが、実際に自分自身で経験してとても感心しました。例えば、販売員はいつも笑顔で優しく丁寧に挨拶をし、手伝いまでしてくれます。町には、コンビニや自販機がたくさんあって、好きな食べ物、飲み物をいつでも手に入れることができます。

でも、しょうじき言って、ツーマッチ(過剰)だと感じることもありました。例えば、電車やバスなどの中、温度セッティングは暑い時ひくすぎて寒く、ぎゃくに、寒い時は暑すぎるぐらいでした。スーパー、デパート、レストランなどでも同じでした。あつすぎたり、さむすぎたりして、けっしてかいてきではありません。それに電気を多量につけピカピカまぶしく、目がつかれるほどでした。これは、日本がしょうエネルギー製品やエコ製品などをたくさんつくっていることとむじゅんするのではないのでしょうか。

2011年東日本大震災がおり、福島原発事故がはっせいし、おそろしいほうしゃせんがもれだして、電力がおおはばにふそくしてしまいました。世界でゆうめいなネオン都市東京でも長時間の停電をけいけんしました。とてもたいへんでした。日常生活で電気の大切さをつうかんしました。節電が大事なテーマになって、前のようにすべてがツーマ

ッチではなくなりました。日本人は手際よく、賢く  
たいおうしました。日本人の強い精神力りよくも世界  
のひとたちに強い印象をあたえました。今年の夏、  
電力しょうひを15%カットしなければならぬ  
ことになりました。たいへんだけれど、これをき  
かけにみな一緒になって困難を乗り越えて頑張  
りましょう。そして、ツーマッチもさよならしま  
しょう。  
(2001年7月号)

えてがみ  
絵手紙



エスカレット  
(メキシコ)



ストイカ・アウレリア  
(ルーマニア)

## ◆「シーラカンスのたわごと」より

### 「サロン・ボランティア 百態」

げつ すい きん しのづかそういちろう  
月・水・金ボランティア 篠塚宗一郎

サロンに10年以上巣食っていると、色々なタイプの  
ボランティアさんに出会えてなかなか面白い。な  
にしる 130人ものボランティア登録があるから、  
せんさばんべつ じゅうにんという  
千差万別、十人十色。

以下は、シーラカンス流やぶにらみボランティア  
ぶんせき いっせき  
分析の一席。

#### Aタイプ:「コツコツ縁の下の力持ち」型

どんな学習者にもイヤな顔をせず、丁寧に  
おし せいと か  
に教える。生徒が替わっても気にしない。  
あめ ふ やす  
雨が降っても休まない。あなたはサロンの  
いしずえ かがみ  
礎、ボランティアの鑑です。ありが  
とう!

#### Bタイプ:「日本のお父さん、お母さん」型

にほん とう かあ がた  
日本語指導だけでなく、生徒の悩み、困っ  
てに積極的に相談に乗る。PTA  
せつきよくてき そうだん の  
型とも。生徒にとってはとてもうれしく、  
たよ せんざい  
頼りになる存在。

#### Cタイプ:「国際交流積極派」型

こくさいこうりゅうせつきよくは がた  
サロン以外にも活動領域を持ち、海外と  
いがい かつどうりょういき も かいがい  
も積極的に交流する隠れた国際派。安倍  
せつきよくてき こうりゅうかく こくさいは あべ  
外交の欠陥を補う貴重な存在。

サロンには意外に多い。

#### Dタイプ:「生涯学習」型

せいと せいどう がた  
生徒を指導するだけでなく、自らも常に  
しどうのうりよくこうじょう じ こけんさんがた  
指導能力向上をはかる自己研鑽型。

にほん ごきょうしてんしよくがた  
日本語教師天職型、とも。サロンにとっ  
て “歩く知性” と呼ばれる中核的存在、  
さいじゅうようせんりよく  
最重要戦力。

でも疲れないように気をつけて!

#### Eタイプ:「お気楽・腰掛」型

き のむいたときだけ、フラッと参加する。  
サロンは生活の味付け程度?。でも、外に  
せいかつ あじつ ていど せと  
向かっては「私、日本語の先生ボランテ  
おわたし にほんご せんせい  
ィアやってるのよ。」

#### Fタイプ:「はぐれ狼」型

にほん ごきょうし じつりよく じゅうぶん そしき  
日本語教師の実力は十分だが、組織の  
いちいん うご ながて む ころう  
一員として動くのが苦手。群れない。孤高  
を保つタイプ。ちょっと勿体ないかも…

#### Gタイプ:「特定生徒没入」型

Aタイプとは真逆で、気に入った生徒に  
ぼつにゅう せいと せいちゆう たの めつし  
没入し、生徒の成長が楽しみ…滅私  
ほうこうがた せんせい せいと みつげつかんけい  
奉公型とも。先生と生徒の蜜月関係はほ  
ほ笑ましいが、ちょっと妬ける?

#### Hタイプ:「熱血金八先生」型

ねつけつきんぱちせんせい がた  
生徒を教えることに我を忘れ、大声を張  
り上げるので周囲は大迷惑。気の弱い生  
徒はおびえて来なくなってしまうことも。  
すぎたるは、何とやら…。

#### Iタイプ:「天上天下唯我独尊」型

「サロンで一番の先生は、この私だあ。」  
ちょっと待って。上には上があるかもよ。

ね、ちょっと拾っただけでも色々いるでしょ。  
ひとり せん なか ふくすう どうきよ  
一人のボランティアの中に複数のタイプが同居  
しているのが面白い。

えっ? そういうお前は何型か? 自覚症状と  
しては GタイプとHタイプの混合型でしょう  
か…。さてあなたは どのタイプかな?

(2014年1月号)

# げっかん がつ ～サロン月間カレンダー1月～

# へんしゅうこうき ～編集後記～

## ■日本語ボランティア講習会

日時 : 1月30日(土) 午後2時～4時

場所 : サロン学習室

テーマ : 「日本語の発音指導の考え方」

講師 : 中村則子先生  
東京外国語大学非常勤講師

定員 : 50名

出席を希望される方は1月25日までに  
サロン事務局に申し込みをして下さい。

## ■サロンでお茶会

1月8日(金) 午前10時30分～12時

「絵手紙教室」(参加費100円～200円)

1月15日(金) 午前10時30分～12時

「生け花教室」(花代500円) 要予約

1月22日(金) 午前10時～12時

「消しゴムハンコ教室」

(参加費200円) 要予約

1月29日(金) 午前10時30分～12時

「ダンス練習」

★対象はサロン学習者またはボランティアの方。

★申込みはサロン事務局まで。

## ■ボランティア研修会

—柏崎雅世先生のフォローアップ講座—

日時 : 1月20日(水) 午前10時～12時

場所 : 3F会議室

テーマ : 「学習者のまちがしやすい『助詞』を考えてみましょう。」

## ■生活支援ミーティング

日時 : 1月19日(火) 午前10時～12時

場所 : 3F会議室

生活支援に興味ある方、すでに登録した方、  
気軽にお集まりください。

“光陰矢のごとし”と言いますが、わがサロンも創立  
20周年。この「くろする一ど」も今回の「20周年  
記念号」が通算201号目。数多くの先輩たちの努力と  
愛情の賜です。

私が編集長を務めたのは半分の10年間ですが、  
最初は殆どボランティア専用内容だったが、サ  
ロン学習者の日本語能力向上とともに学習者の  
投稿も少しずつ増え、教材としても使っていただけ  
るようになりました。また良き相棒坂倉副編集長の  
アイデアで絵手紙なども掲載できるようになりまし  
た。10年前と比べ夢のような進歩です。

先人のご苦労とサロンの皆さまのご支援に、心か  
ら感謝!  
(篠塚)

【編集】会報部会/ 安島、飯島、坂倉、篠塚、  
進藤、数納、高柳、堤林、増田、和田

【事務局】電話 : 042-352-4178

E-mail : [salon@fuchukokusai.gr.jp](mailto:salon@fuchukokusai.gr.jp)

サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>

